

# 同仁だより

No. 125 2024年7月号

〒112-0015 文京区目白台3-10-9

TEL: 03-3943-1879

同仁キリスト教会 同仁美登里学園

同仁美登里幼稚園 同仁美登里保育園

E-mail DSyadan@doujin-midori.ed.jp (教会、社団) info@doujin-midori.ed.jp (幼稚園、保育園) 発行者 小門 宏

## 終わりのない使命と課題

# 「地域と共にある同仁」の役割を果たそう

### キリスト教同仁社団 小門宏理事長退任 22年間変わらぬ期待

同仁の135年にわたる歴史を振り返るとき、常に挙げられるのが米国のユニバーサリスト教会の人たちの真心の支えと、それを日本で実践して来た人たちのこと

です。ブラックマホームも、120年を超える歴史を持つ同仁美登里幼稚園もそうです。そこに見えるのは社会において立場の弱い人々への寄り添いと、これから日本の社会を支えていく子どもたちへの愛だと思えます。どこにでもいろいろな施設があり、幼稚園がある現在において、私たちの信仰に根差した活動を続けることが神の意思であり、多くの先達の思いを継承することだと思えます。こうした歴史の積み重ねの中で、22年前、同仁社団の理事長に就任した小門さんは当時の社会情勢を見て、大人が考えた社会理念は、子どもたちが育つ環境によい影響を与えただろうか、物質的には豊かでも、核家

族、少子化問題が子どもにも与える影響に疑問を投げかけ、同仁社団は地域の人々と手を携え、子どものためによい環境を作ることが大切であると言われ、そのために尽力されてきました。ちょうど美登里幼稚園の園庭にピオトープを作る計画が進められていて、社団は地域事業としてNPO法人「えこお」の協力を得て、園庭を開放し、世代間を越えた交流の場を目指した「子ども遊び場やきき塾」の開始や、こども自然体験「ゲッター君の森で遊ぼう」等地域の子どもや大人を巻き込んだ活動を展開してきました。

また、文京区の要請もあり、幼稚園就園前の2才児以下の保育室の検討も始め、それは二〇〇六年の保育所開設につながりました。その後、幼稚園を二〇一〇年に社団法人から学校法人に独立させ、二〇一三年度まで両法人の理事長を兼務してきました。

同仁だよりを見てみると、二〇一一年には「希望を膨らませよう、人のせいにするのでなく、小さなことにも楽しみを見つけよう」として、幼稚園、保育園、学園でのふれあい、教会での霊の学びを通して、同仁グループで生まれた人の地域ネットワークがそ

ういう活動の拠点となつてほしいことや二〇一四年、現代は昔以上に将来に不安を多くはらむ時代、同じ地域の仲間たちとささやかでも平安を分かち合うように小さな喜びを共有しよう。自然の法と人間の権利、どちらにも共通する大原則は「自分にしてほしくないことは、他人にもしてほしくない」と述べられています。

二〇一六年に就任した学校法人の石橋克己理事長が、同仁に連なる社会には、最初にできた同仁キリスト教会、そして同仁社団、学校法人があり、私たちは共に根を同じくする兄弟で、互いに支え合い高め合うことが大切です、と常に言われていることはまさに小門前理事長の考えとも一致していました。小門さんは、学校法人の理事として同仁が道から逸れないように、今も共に励んで下さっています。

二〇一八年、「ロボットもベツトを欲しがらるだろうか」では、人工知能時代に対しては、美しさ、神秘、感謝、思いやり、人間らしい感性とそれに根ざす行動が人類の歴史に果たした役割を考えてみよう。二〇一九年、「自分たちの利益、万人の利益、バランスを保つ知恵を地域から」発信しよう、二〇二〇年、「知識や情報で解決できない問題」、次代を担う子どもたちとこころを育む適切なファンタジーに接する機会を用意しているだろうか、ネットまかせにしているだろうか、と投げかけました。

22年間、「同仁」の信仰、保育、教育、文化、芸術等の特性を生かした地域事業は保育園、幼稚園事業と共に、学園でのピアノや英語のおけいこ、体育や子どものアトリエ、大人の読書会や手芸、卓球の会、保護者の自主グループ活動、アフタヌーンコンサートや、がん哲学外来カフェ、アマチュア合唱団の練習会や演奏会、今、この場所は「同仁グループ」のコミュニティがすでにできています。今後もこのネットワークを一層生かし「地域と共にある同仁」の役割を果たしていくことは小門さんの一貫して変わらない期待であったと思います。その信念のもと、同仁を支えて下さった小門前理事長に、私たちは神の祝福を願ひ、心から感謝の気持ちを抱きたいと思ひます。

(石井瑠美・記)

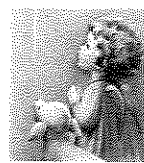


●小門さんが教会からのBDカードを20年間作られた絵の1枚。「嵐を鎮める」クリストフォロ・デ・ブレディス

教会

子どもの教会

心に神様の力を  
いただくとどう



子どもの教会では幼児から中学生まで一緒に礼拝をするので、

お話を担当する大人は大変です。どの年齢に焦点を当てたらいいのか難しいところです。

でも語り手が一生懸命だと、小さい子もうなずいたり、中学生がわかります、という顔で聴いてくれるので、話し手はとても助かります。

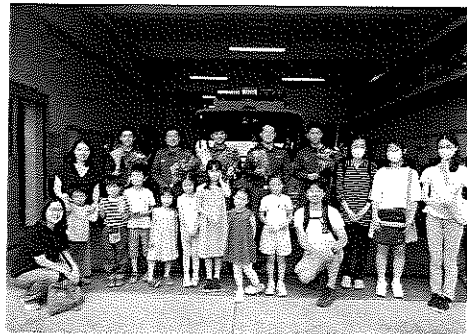
子どもたちの心に語りかけた聖書の言葉やイエスさまの話は、大きくなっても心のどこかに残っているものです。

子どもの教会は、みんなで一絡に聖書のみ言葉を聴き、お祈りを

し、賛美をささげます。日常とは少し違う時間ですが、だれでもが安心して自分を自由にしていい所です。  
子どもたちが成長し、悩むことがあるとき、教会をふっと思い出し、乗り越えていくきっかけになります。心に神さまの力をいただく場所です。  
6月9日は花の日礼拝で、カードと花をもって大塚警察署と老松消防所を訪問しました。(I)



●大塚警察署にて



●小石川消防署老松出張所の皆さんと(花の日)

「わたしのところに来て  
飲みなさい」

ヨハネによる福音書7章37節

同仁キリスト教会 牧師 小林 恵

水にはいろいろな効用があります。飲む、洗う、浸かる、冷やす…。特に夏の季節では、暑さ対策として水分補給はとても大切です。

水はわたしたちの生活に欠かすことはできません。人の体の60パーセントは水です。もし必要な水分が体内から失われたならば、しっかり補給しなければなりません。

水は水道から得られます。店に行けばペットボトルの水を買うことができます。水はいつも当たり前にあるものと思ってしまう。

でも、そうではありません。もし雨が降らなければ、やがて水不足となってしまうのです。

わたしたちに必要な水は、雨をもって神が与えてくださる賜物なのです。

「わたしのところに来て飲みなさい」と主イエスは言われています。`生きた水、(聖書の御言葉)を豊かに与えてくださるために、主なる神は御自身のもとに日々わたしたちを招いておられるのです。朝起きていただく一杯の水を感謝するわたしたちを。



学園

自由創作の子どものアトリエ  
「作りたい」「やってみたい」「好き」を大事に

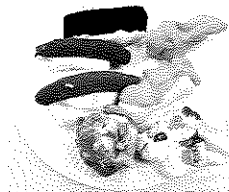
アトリエ

講師 高橋朋子

自由創作のアトリエを開講させていただくようになって3年目となりました。このアトリエでは一人ひとりのお子さんが多くの画材の中から好きなものを選び、その日に作りたいものを創作します。

粘土や水彩絵の具などの触感画材をはじめ様々な画材に触れながら五感を育てていきます。創作を通して色彩感覚や造形力、集中力などいろいろな能力を少しずつ身につけ、楽しみながら心を育む場所となるようにサポートしています。絵の具や色鉛筆を使って絵を描くお子さん

たされ、自信や意欲、心の安定へと繋がっていきま



●おすし(幼児クラス)

時にはイメージ通りにいかなくて悔しい思いをすることも。そんな時は試行錯誤しながら次のステップに繋げていけるようにサポートしてまいります。のびのびと思いの創作を楽しみ、ワクワクしながらエネルギーを散らし、創作を通して子ども達はお互いに刺激し合っておりアトリエの場を楽しんでいます。表現することにより喜びを感じ、居心地の良い場所となるように、自由に創作する場を保障し、一人ひとりのお子さんとのコミュニケーションも大事にしています。夢中になって創作に取り組む子ども達に寄り添えることは私にとって大きな喜びとなっています。



●講師の高橋朋子先生

その時の「作りたいーやってみたいー」という気持ちを尊重し、自主性や「好き」を大事にすることで創作を通して気持ちが満

幼稚園

漕ぎ出せよう、奏でよう

同仁美登里幼稚園 園長 安心院敏子



四月の園庭は春の花たちが、やわらかな陽ざしを浴びて、木々のまだ淡い緑色に映え、自然界の色合わせはなんて綺麗なのだろうと、つい見入ってしまいます。ピオトープの池の中に新しく生まれたオタマジャクシは群れになり尻尾を振って懸命に泳ぎます。四月真新しいエプロンを着けた子どもたちを迎え、美登里幼稚園の春が始まりました。

一つ大きくなった子どもたちが新たに漕ぎ出す先に嬉しいことも、時には悲しいことも、悔しいこともあるでしょう。そのすべてが子どもたちの心を動かし、揺さぶり、大きく豊かに成長させてくれます。私たち教師



●トンネルに水を流す

今年度も、ひつじの会、ぶどうの会（同窓会）、地域の方々のお力添えをいただきながら美登里幼稚園らしく教育活動を重ねていくことに感謝いたします。



●スポーツカーに乗って

はどんな時も神さまの導きに委ねて力を尽し、子ども同士が互いに響きあい奏でるものに心を向け、他にはないその音色を保護者の皆さまとともに味わいながら二〇二四年度を過ごして参りたいと思います。



●コーヒー屋さん

みどりクラブ（預かり保育）幼稚園とは違うみどりクラブ（預かり保育）の先生。夕方の疲れた心身を優しく受け止めてくれる先生、工作のアイデアをたくさん持っている先生、歌やピアノが得意な先生、お話しや紙芝居が上手な先生、様々な個性を持った、幅広い年齢層の先生と触れ合うことは、子どもたちの世界を広げてくれます。みどりクラブでは今後、園外へのお散歩やお買い物、おやつ作りなど様々な活動を取り入れていきます。お楽しみ。

保育園

なにができるかな

同仁美登里保育園 園長 堀 万美



毎年この季節になると野菜や花を2歳児のつぼみ組が育てます。担任は、感触や野菜の匂いと匂、葉のにおい、また野菜を食する嬉しさなど、子どもたちに何を感じてほしいか話し合ってから決めていきます。今年、きゅうり、なす、ピーマン、オクラ、二十日大根です。花は、幼稚園交流でみどり組からいただいた朝顔、つくしの会のお手伝いの保護者の皆様と花壇に植えたひまわりです。

「お手伝いお願いね」と伝えるとうんうんと任せてと苗を植え、そつと土をかぶせていました。

そして毎日小さなスプーンで水やりをしていました。毎年あえて苗の種類は秘密にしています。毎日見ていく中で変わっていく様子を保育者も一緒に感じ、興味関心の芽生えを



●「給食の先生、おいしくしてください」

大切にしていきたいからです。その水やりを真似し始めた1歳児のふたば組。水に触れるあそびも心地良くに繋がっています。「葉っぱさん大きくなつて」と育てていた野菜がきゅうりとわかつた時は、「きゅうりが」と嬉しそうに伝えていました。収穫して給食室へ「おいしくしてください」と子どもたちと届け、スティックきゅうりや塩もみ、肉味噌スパゲティの上には、なすをのせてもらいました。「かじるとポリポリ音がするね」のつぶやきや、一度は、口に運んでみる子どもも。自分たちが毎日お世話をした思いも大きいようです。神さまからの恵みに感謝し、命あるもの全てを大切にしていきたいと思いま



●はじめての収穫「きゅうりだね」

# あじの家の家

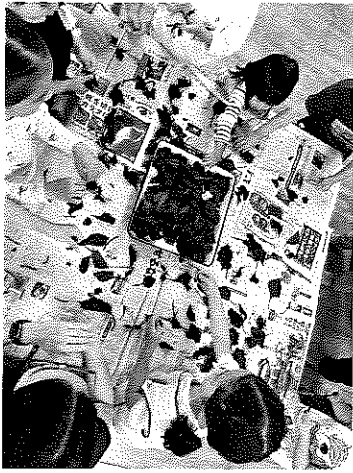
みんなで作った

## 赤紫蘇ジュース



今年猛暑になりそうだと連日ニュースで流れておりますが子供達はそんなことも気にせず元気に遊んでいる様子が見られます。そんな中、夏に向けて本格的に暑くなってくる前に赤紫蘇ジュース作りを行いました。

子供達には赤紫蘇の茎から柔らかい葉っぱの部分を取り



つくつと赤紫蘇を煮る様子も真剣に見ていきました。

そんな中みどり組のYちゃん自身が赤紫蘇を千切り終わつた後、もも組さんを連れて帰つてきました。手を洗うのを手伝つてあげて赤紫蘇の千切り方まで「こ

うやるんだよ。」と優しく教えてあげます。帰りも最後までエスコートしている姿を見て心が温かくなりました。こういった様子が見られるのは学年問わず仲良く出来る美登里幼稚園ならではのだなど思えます。

出来上がった赤紫蘇ジュースは職員室で貰えます。さらに季

離すの手伝って貰います。今年も沢山の子供達が手伝いに来てくれました。赤紫蘇が足りなくなつてしま

い既に千切つた赤紫蘇をさらに小さくして貰うくらいです。それでも足りず砂糖の計量まで手伝って貰い

節に合わせて梅ジュース、やまももジャム、ミニトマト、きゅうり(上手くいけばスイカも)、干し柿、焼き芋等が出来てきます。これらは全てひつじの会の保護者の皆さまの手作りです。いつもご協力ありがとうございます。

作業する時には沢山の子供達の笑顔が見られます。このような環境を作ってくれる安心院園長先生と先生方に感謝しております。

保護者である私達も子供達のキラキラした笑顔や元気な姿を楽しみ充実した幼稚園生活にしていきたいですね。

(きぐみ 平野)

### 掲・示・板

- ◆ 8月 ◆
  - 7日(水) がん哲学外来  
「丘の上のカフェ・シャローム」
  - 11~17日 同仁社団体休業日
  - 13~19日 みどりクラブ休み
  - 29日(木) 30日(金) 幼稚園夏期保育
- ◆ 9月 ◆
  - 4日(水) がん哲学外来  
「丘の上のカフェ・シャローム」
  - 6日(金) 幼稚園始業日
  - 13日(金) 幼稚園災害引渡し訓練
  - 22日(日) 同仁社団理事会
  - 29日(金) 保育園災害引渡し訓練
- ◆ 10月 ◆
  - 2日(水) がん哲学外来  
「丘の上のカフェ・シャローム」
  - 9日(水) 幼稚園入園説明会
  - 15日(火) 幼稚園入園願書配布開始日
  - 12日(土) 幼稚園運動会
  - 24日(木) アフタヌーンコンサート

※詳細は各ホームページをご覧ください。



一般社団法人  
理事長に  
北山正裕さんが  
就任

同仁社団は、前理事長の小門宏さんが信仰に根ざした保育、教育、文化活動を22年間尽力された後を引き継いでいくのはこの人しかいないという期待のもと北山正裕さんが、この5月末に新理事長に就任した。

北山さんは同仁社団の少しづつ変わつてきた事業の変遷に職員、理事としてまた学校法人けやき学園の事務局長、理事、教会の役員会代表として各部の要職を担い30年以上同仁と共に歩み働いてこられた。

穏やかな人柄と、仕事に対する責任感が強く人望も厚い。趣味は音楽(テノールで歌いギターを弾く)と卓球。また、指圧師等の国家資格を持っている。

### コンサート情報

- 8月
  - ★10日(土) 午後5時 大島博レッスン生発表会
  - ★24日(土) 午後3時 子ども音楽教室発表会
  - ★25日(日) 午後5時 ハープ&和楽器の演奏会
  - ★31日(土) 午後3時半 清水梨紗。彩華門下生発表会
- 9月
  - ★14日(土) 午後5時 ロスコ モーション オークストラ演奏会
  - ★21日(日) 時間未定 銀笛の会 合同発表会
  - ★28日(土) 午後3時 ハートフルコンサート
  - ★25日(土) 午後2時 弦楽アンサンブルコンサート
  - ★29日(日) 午後4時 目白台コンサート
- 10月
  - ★5日(日) 午後2時 ダブルAリコーダーアンサンブルコンサート
  - ★19日(土) 午後6時 ハープ&サクソフォンコンサート
  - ★20日(月) 午後3時半 R'sミュージックスタジオ音楽発表会
  - ★27日(日) 午後6時 第42回東京アマデウス合唱団定期演奏会